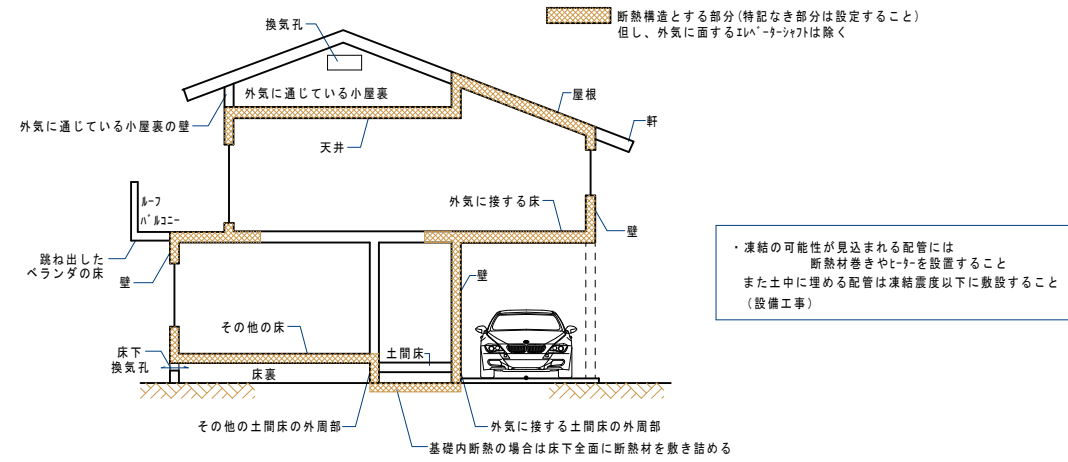


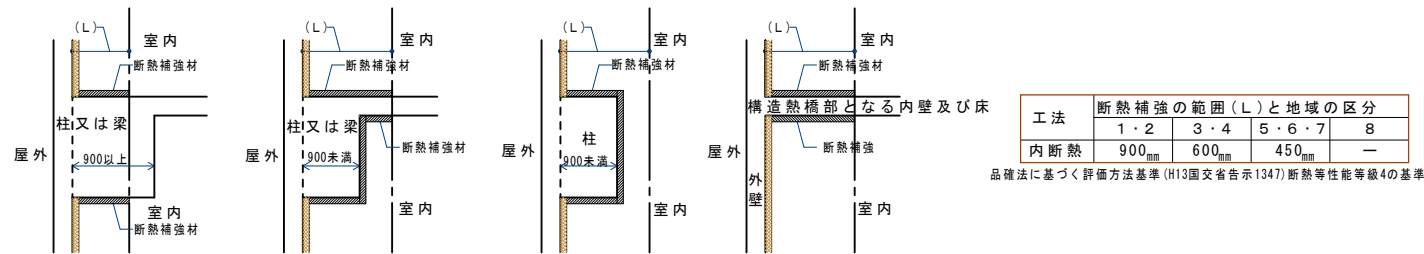
断熱特記

- ・外気に面する熱橋部分には断熱補強を適切に施す。
- ・コンクリートに対して断熱材を施す際は、コンクリート躯体に断熱材を全面接着させ室内空気が躯体と断熱材の境界に流入しないようにする。
- ・すべての断熱材は隙間なく施工する。納まり上やむなく隙間や欠けが生じる部分には必ず発泡ウレタンで密閉断熱処置する。
- ・ユニットバスは断熱された外壁、床、屋根（天井）の内側に設置する
- ・以下発泡ウレタンとは建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1H(断熱記号E)とする

断熱構造とする各部位

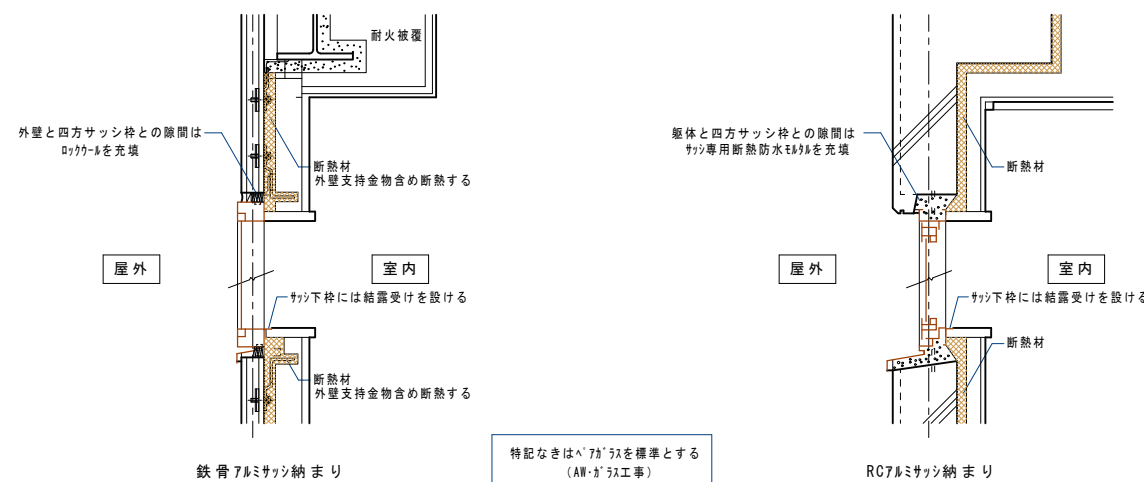


断熱補強(熱橋部分)の範囲(L)



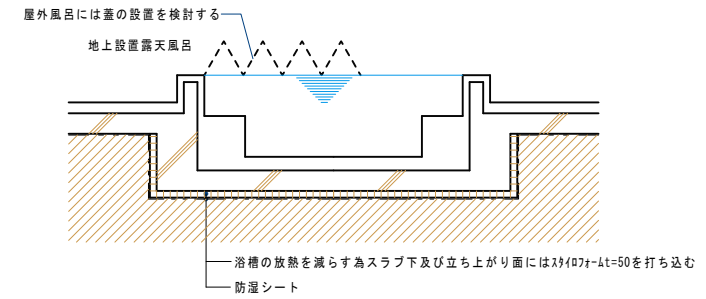
※断熱補強断熱材は特記なきは【発泡ウレタン25吹付け】とする

窓まわりの断熱納まり

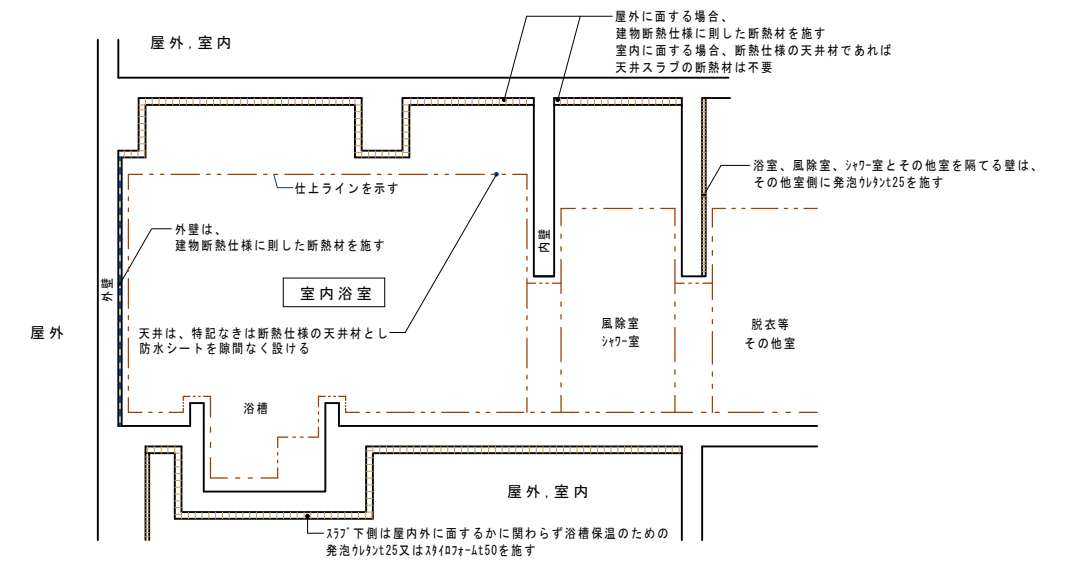


浴室廻りの断熱

□地上設置の露天風呂(現場施工の場合)



□室内浴室



□常時外気に解放された露天風呂、半露天風呂

